

ウィルの CSR 活動のご紹介



介助犬支援活動 2003年～



入社式・契約募金贈呈式にて、介助犬と新入社員と関係者(2023年4月)



介助犬の仕事のデモンストレーションを体験する新入社員(2023年4月)

当社は、2003年に介助犬の育成・普及の支援を始めました。以来、営業拠点に補助犬ステッカーを貼付、募金箱設置、チャリティフリーマーケットの開催、シンポジウムへの協賛やマス媒体への掲載などを行って参りました。2010年からは、**不動産のご契約一件につき1,000円または10,000円を寄付する「契約募金」**を開始。積み上げた寄付金は、毎年、4月に介助犬協会などに贈呈しています。**2022年(2022年1月～12月契約分)の契約募金総額は、1,414,000円**となりました。今後も、「ささやかを続けよう!」を合言葉に、介助犬支援に限らず、私たちにできることを続けていこうと考えています。



チャリティフリーマーケット開催時の様子



全拠点に設置した募金箱

※介助犬は、手や足に障がいのある方の日常生活の手助けをするために特別な訓練を積んだ犬です。

※補助犬は体に障害のある人の目や耳、手足となって働くよう訓練された犬で、「盲導犬」「介助犬」「聴導犬」の総称です。



レモネードスタンド活動 2023年～



初開催した時の様子。2日間で640杯のレモネードを販売しました(2023年7月)

アメリカで子どもたちのおこづかい稼ぎとして定着している「レモネードスタンド」。これを利用して、アメリカのある小児がん患者の少女が、小児がん支援のために多額の寄付を集めました。これを機に、レモネードスタンドはおこづかい稼ぎの体験を楽しむだけでなく、集めたお金を小児がん治療のために寄付するという社会貢献活動としても広がりました。当社は、ある新聞記事でレモネードスタンド活動を知り挑戦。2023年は3回開催し、**156,798円を、レモネードスタンド普及協会を通じて寄付**しました。今後も継続する予定です。